

# 工事説明と注意喚起

## 工事説明（製品取り付け手順と動作確認）

### 配管の接続

①配管の両端に「行きシール・戻りシール」を貼り付ける。



⚠ シールの貼り間違いがないこと

②配管を接続する。

- 必ず給湯機側の「行き」と循環アダプター側の「行き」、給湯機側の「戻り」と循環アダプター側の「戻り」を合わせてください。

⚠ 配管の行き・戻りを間違わないこと

- 行き・戻りを逆に接続すると正常に動作しません。
- 給湯機の故障につながります。

※樹脂継手は必ずパッキン（現地調達）を使用してください。  
パッキンを使用しないと漏水の原因となります。

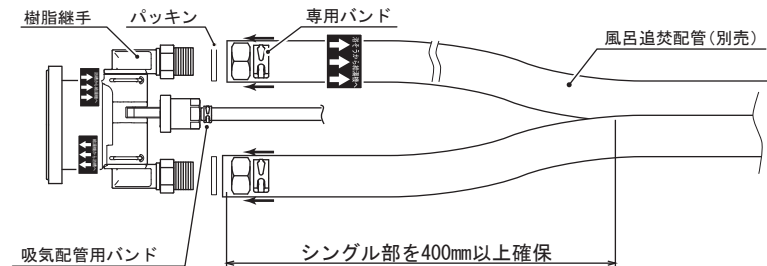
⚠ テーパーねじとの組み合わせ禁止

⚠ G1/2ねじ締付トルク：20N・m（約200kgf・cm）

- 上記のトルクを超えない様にねじ込んでください。  
目安：ノンスパッキン 手締め後約1/3回転  
ゴムパッキン 手締め後約1回転

※配管シングル部を400mm以上確保

継手接続部に負荷がかかり漏水の原因となります。



### ▼行き戻りシール

給湯器から浴そうへ



給湯器から浴そうへ



浴そうから給湯器へ



浴そうから給湯器へ



### ⚠ 必ず動作確認をすること

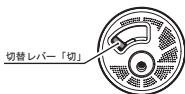
行き・戻り配管を逆に接続すると給湯機が正常に動作しません。  
給湯機の種類によっては、湯があふれる場合があります。

- 給湯機の工事説明書に従いふ試運転を完了する。
- 切替レバーを「入」側に切り替え、給湯機のリモコンにて追焚きを行う。
- フィルター正面のバブル吹出しより微細な泡が出ていることを確認する。



4 試運転。追焚きによるバブル確認後、問題がなければ切替レバーを「切」にしてください。

5 注意シールを浴室の壁に貼り付けてください。  
※水で貼るタイプのシールです。



## 注意喚起

### ▼梱包箱

行き・戻り 指定あり

⚠ 行き・戻りを逆に接続すると正常に動作しません。

- 必ず給湯機器側の「行き」と循環金具側の「行き」、給湯機器側の「戻り」と循環金具側の「戻り」を合わせてください。

動作確認必要

⚠ この製品の取り付け後、「試運転」もしくは「自動お湯張り運転」を完了させてください。

### ▼工事説明書

ウルトラファインバブルアダプター ウルプロZ 工事説明書

施工動画

取付は左記QRから動画でも確認できます。

重要

この循環アダプターには配管長に制限があります。  
必ず以下の配管制限を守ってご使用ください。

配管制限 ※機器側の配管制限と比較し、短い方にしてください。  
※一般的な90°エルボを使用する場合は、1個あたりの直管相当長さを1mとしてください。  
※曲げRは、使用する配管の制限に従ってください。

給湯機種	配管名	最大配管長	曲り箇所	高低差（機器基準）
ガス	10A樹脂管 10Aホース 13A三層管	10m	10か所	+7m -5m 以内
	13A樹脂管 15Aホース	25m	10か所	+7m -5m 以内
エコキュート 石油	10A樹脂管 10Aホース 13A三層管	10m	10か所	+4m -1.5m 以内
	13A樹脂管 15Aホース	15m	10か所	+4m -1.5m 以内

配管接続「行き・戻り」指定あり

配管接続「行き・戻り」を逆に接続すると、正常に動作しません。

製品取り付け後、必ず動作確認をおこなってください。

循環アダプターは、水が流出しても支障がなく、吸気ユニットのメンテナンスができる場所に設置してください。

### ⚠ 注意

- この循環アダプターは浴槽の厚さ15mm以下のものに使用できます。
- 専用の漏れ検出装置を使用し、追焚配管の漏れ検出を必ず行ってください。
- 循環アダプターの劣化や寿命などには責任を負いません。ご注意ください。
- 循環アダプターからは高温水（80～90℃）が出る場合がありますのでご注意ください。
- 可燃性、アルカリ性の薬剤や塩素系のカビ洗浄剤は部品をいためるおそれがありますので使用しないでください。